

20年度決算のあらまし

20年度決算がまとまりましたので、その概要についてお知らせします。

20年度の一般会計決算額は、歳入額が332億6,879万1,024円、歳出額は324億476万3,187円となりました。また、一般会計と国民健康保険・後期高齢者医療・老人保健・介護保険・下水道事業の5つの特別会計を合計した歳入額は、589億7,887万9,345円、歳出額は574億8,146万7,219円となりました。

詳しくは財政課☎470・7706へ。

一般会計の歳入は世界的な経済状況悪化の影響を受け、地方消費税交付金をはじめ、地方譲与税、自動車取得税交付金などが減少したものの、市税のほか、地方交付税、国庫支出金などが増加したことにより、歳入総額は前年度に

比べ0.2%の増加となりました。

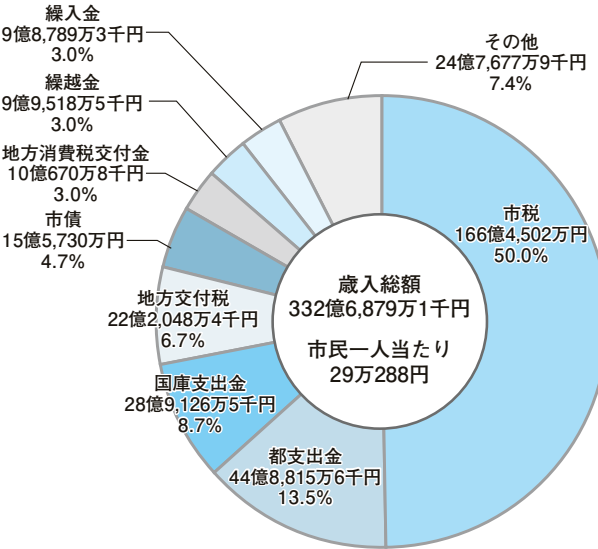
歳出は、人件費、物件費などが減少したものの、生活保護費など社会保障費の増加により歳出総額は0.6%の増加となりました。

今後も景気の低迷による歳入の減少と、社会保障費など歳出の増加が見込まれることから、市では、より一層の歳入確保と経費削減に向けて事務事業の見直しを継続して行うとともに、適正な執行管理に努めていきます。

一般会計

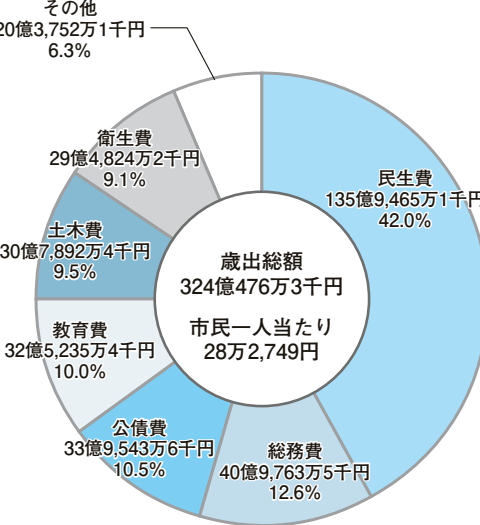
一般会計は、市民の皆さんに納めていただく市税を中心に、地方交付税や国・都支出金、市債などを財源として、公共施設の整備、福祉、保健衛生、消防、教育など、市民生活を支える基本的経費が計上されています。

歳入



市税…市民税、固定資産税、都市計画税、市たばこ税、軽自動車税
都支出金…都が行うべき事業を市へ委託した場合や、市が行う事業に対する補助として都から交付されたお金
国庫支出金…国が行うべき事業を市へ委託した場合や、市が行う事業に対する補助として国から交付されたお金
地方交付税…地方団体間の財源の格差を調整するために国から配分されたお金
市債…学校や道路整備のために借り入れたお金
地方消費税交付金…国勢調査による市の人口と事業所統計による市内の従業員数に応じて都から交付されたお金
繰越金…前年度の決算余剰のうち、今年度へ繰り越したお金
繰入金…事業のために基金から取り崩したお金
その他…地方譲与税、分担金、負担金、財産収入、使用料、手数料、寄附金など

歳出



民生費…障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、健康医療などの事業に要した経費
総務費…財産管理、人事、徴税、戸籍、選挙、統計調査など、他に分類されない事業に要した経費
公債費…市の借金（市債）の返済や一時的な借入れをした場合の利息支払に要した経費
教育費…学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要した経費
土木費…道路、公園、区画整理などの事業に要した経費
衛生費…保健衛生、公害対策、ごみ処理などに要した経費
その他…議会運営、産業振興、消防などに要した経費



性質別支出の状況

性 質	決算額	市民一人当たり
人件費	80億686万6千円	6万9,864円
物件費	51億7,506万9千円	4万5,155円
維持補修費	1億5,078万9千円	1,316円
扶助費	65億6,729万2千円	5万7,303円
補助費等	28億1,920万5千円	2万4,599円
公債費	32億1,867万6千円	2万8,085円
積立金	7億2,974万円	6,367円
投資及び出資金・貸付金	1億1,649万6千円	1,016円
繰出金	37億4,896万2千円	3万2,712円
前年度繰上充用金	0円	0円
投資的経費	16億1,098万円	1万4,057円

※性質別の金額は、「一般会計」と「公営事業会計以外の特別会計」の数値を組み替えて作成した決算統計（地方自治体の決算についての統計）上の数値です。

市税収入の状況

税 目	決算額	市民一人当たり
個人市民税	80億5,108万円	7万250円
法人市民税	5億7,121万9千円	4,984円
固定資産税	60億3,992万8千円	5万2,702円
都市計画税	13億7,110万4千円	1万1,964円
市たばこ税	5億4,699万5千円	4,773円
軽自動車税	6,469万4千円	564円
合計	166億4,502万円	14万5,237円
（参考）19年度決算額	165億8,242万8千円	14万5,078円

※21年3月31日現在の人口：114,606人

目的別支出の状況(主な内訳)

	決算額	市民一人当たり
総務（総務費）		
一般管理	11億2,397万6千円	9,807円
財産管理	3億1,515万4千円	2,750円
電算管理	3億9,922万2千円	3,483円
コミュニティ振興	1億9,822万9千円	1,730円
徴税	5億8,189万7千円	5,077円
福祉（民生費）		
高齢者	20億3,385万8千円	1万7,747円
障害者	18億8,410万6千円	1万6,440円
子育て	59億3,451万7千円	5万1,782円
生活扶助	23億546万1千円	2万116円
環境・ごみ処理（衛生費）		
保健衛生	9億4,528万3千円	8,248円
公害対策	1億129万5千円	884円
清掃	19億166万4千円	1万6,593円
産業振興（農林業費・商工費）		
農業	8,360万4千円	729円
商工	1億9,527万8千円	1,704円
生活基盤（土木費）		
道路	17億1,467万2千円	1万4,961円
河川	2,790万7千円	244円
公園	4,701万1千円	410円
教育・文化（教育費）		
幼稚園	9,359万8千円	817円
小学校	12億8,526万6千円	1万1,215円
中学校	5億6,384万4千円	4,920円
図書館	3億4,429万6千円	3,004円
公民館	1億4,028万8千円	1,224円
社会教育	8,375万7千円	731円
スポーツ	2億4,391万9千円	2,128円
防災（消防費）		
消防	14億2,447万9千円	1万2,429円
借金返済（公債費）		
市債元金利子償還	33億8,917万8千円	2万9,572円

《今号の主な内容》

- ・12月1日～22年1月31日は寄付禁止強化期間
- ・緊急雇用創出事業に伴う市臨時職員を募集
- ・市営自転車等駐車場の22年度利用登録
- ・年末年始のごみ収集と医療体制等

20年度決算のあらましは、2面に続きます。

今年一年間「広報ひがしくるめ」をご愛読いただき、ありがとうございました。

次号は22年1月7日に発行します。